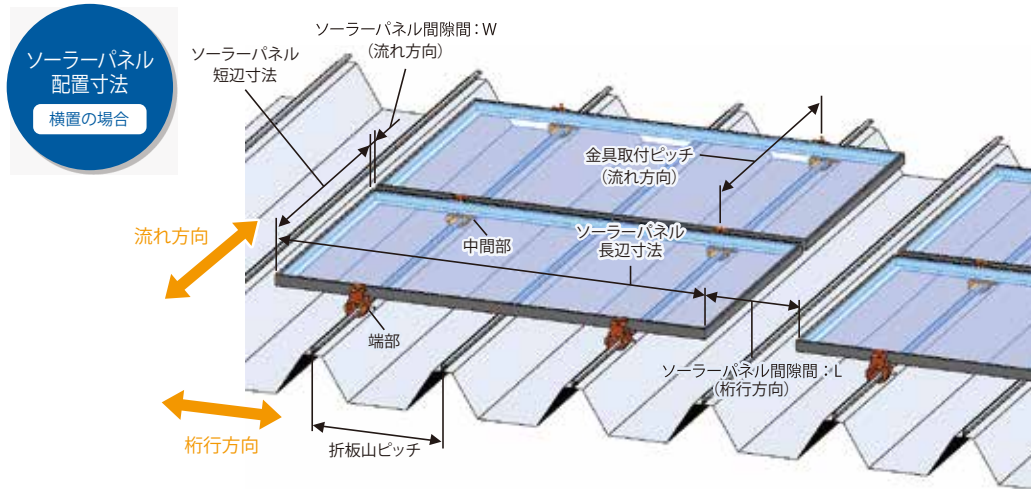


## 各部取合い寸法

### 直付工法（ハゼ式アルミタイプ）



※ソーラーパネルメーカー様にてソーラーパネル間隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

#### ソーラーパネル間隙間（桁行方向）：L

左右対称配置の場合 桁行方向（最小寸法）： $L = \{ \text{折板山ピッチ} \times (\text{ソーラーパネル長辺寸法} \div \text{折板山ピッチ}) \} - \text{ソーラーパネル長辺寸法}$   
↓  
小数点以下切り上げて整数にする

偏心配置の場合 隙間は、屋根・建物・ソーラーパネルの強度・耐久性を考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置（配置）仕様（条件）に準拠した上で、お客様にて決定してください。

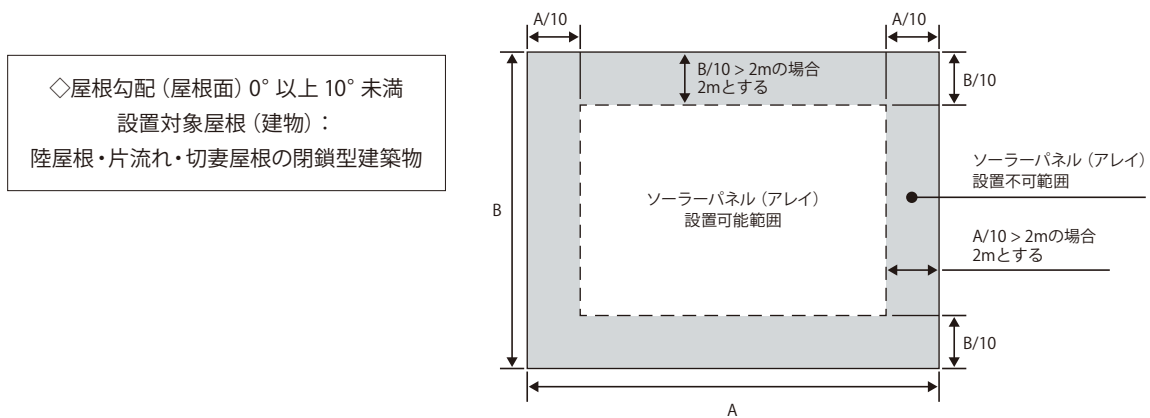
※最小寸法が5mm未満の場合は、折板山ピッチを加算してください。また、ハゼ式Ⅲ型への取付けの場合は、山ピッチではなく働き幅で隙間寸法を決定してください。

#### ソーラー金具取付ピッチ（流れ方向）

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法 + ソーラーパネル間隙間（流れ方向）：W（40mm）

## 設置条件について

- ①ソーラーパネル固定方法：ソーラーパネルフレーム押さえ固定 4又は6箇所留（ソーラーパネル1台あたり）
- ②屋根なり設置（屋根置き形）：アレイ面（屋根面）＝ 屋根傾斜＝設置（傾斜）角度



- ①アレイ（ソーラーパネルおよび金具・架台）を上記の設置対象屋根（建物）の屋根周辺部（外周のこと。屋根端部からそれぞれ辺長の10%以内の範囲とする。ただし、辺長の10%が2mを超える場合は2mとする。）へ陸屋根設置で設置する場合は、JIS C8955:2017の適用外です。